

都市再生整備計画

いなざわえきしゅうへん
稲沢駅周辺地区

愛知県 いなざわ 稲沢市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	いなごき市 稲沢市	地区名	いなごきまきしろうへん 稲沢駅周辺地区	面積	106.8 ha
計画期間	平成 21 年度	～	平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度	～	平成 25 年度

目標

大目標：都市機能の充実と暮らしやコミュニティに配慮した快適で安全なまちづくり

目標1	快適で安全・安心な住環境の形成を図る。
目標2	地域コミュニティ機能の強化を図る。
目標3	駅周辺全体の都市機能充実と市街地活性化を推進する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・当地区は、JR東海道本線稲沢駅に近接し、名古屋駅まで約10分、名神高速道路一宮ICまで約2km、東名阪自動車道清洲東ICまで約5kmと、大変恵まれた交通立地条件にある。しかし、長年にわたり東海道本線及び広大な稲沢操車場により東西交通が分断されてきた。その結果、道路・公園等の都市基盤整備も遅れていたが、昭和62年の国鉄改革を契機に発生した操車場跡地(約28ha)の遊休地を活用し、尾張西部地域における新たな都市拠点を目指す開発に着手した。この開発計画は、「稲沢駅周辺総合整備計画策定調査委員会」、「稲沢駅周辺まちづくり委員会」等を学識委員等で構成し検討を行い、策定してきた。
- ・この開発の骨格となる土地区画整理事業は、平成9年に下津陸田地区(市施行)及び尾張西部都市拠点地区(都市再生機構施行)の事業認可を得て進めてきた。
- ・この二地区の土地区画整理事業の進捗状況は、尾張西部都市拠点地区については、(都)稲沢西春線の跨線橋工事を残しほぼ工事完成の状況であり、マンションや商業施設建設等が進行し、定住人口が増加し始めている状況である。一方、下津陸田地区についても工事の終盤であるが、一部地域の道路未整備な状況や未だ公園整備は1箇所にとどまっているなど事業に若干の遅れが生じ、開発全体としては未完成的な状況である。
- ・この地域の鉄道による東西分断を解消する(都)稲沢西春線の跨線橋は、平成19年度より工事着手し、平成23年度の完成を目指している状況である。
- ・平成16年度には下津陸田地区内の公園を対象にワークショップを実施し、住民参加のまちづくりの取り組みがなされている。
- ・駅東側の広大な操車場が新たな都市拠点到に生まれ変わり、尾張西部地域の発展に寄与しは始めている。

課題

- ・下津陸田地区土地区画整理事業を引き続き推進し、開発全体の早期終結を図る必要がある。
- ・基盤整備の進捗とともに定住人口は増加傾向にあり、残された公園整備の早期整備が必要である。
- ・公園設計時のワークショップ実施や公園維持管理体制の構築など継続的な住民参加のまちづくりが必要である。
- ・駅東側の都市拠点整備をきっかけに、市の玄関口として今後さらなる駅周辺全体の都市機能充実と市街地活性化を推進することが必要である。
- ・なお、本事業は平成16年度よりまちづくり交付金による財政的支援を受けて進めてきたが、今後なお一層の支援を必要としている。

将来ビジョン(中長期)

幹線道路をはじめとする都市基盤を整備すると共に、多目的広場・公園整備など、人が集い触れ合う場の創出や、大規模商業施設等の誘致を図り、尾張西部地域の新たな都市拠点到にふさわしい、にぎやかで活力溢れるまちづくりをめざす。また、市民生活の視点からも、住民の声も取り入れながら、便利で快適な住環境の整備を図る。

- ・この開発の上位計画による位置付けは次のとおり。
 - ①『中部圏基本開発整備計画』…「旧国鉄用地を利用した拠点市街地の整備を推進する」
 - ②『愛知県2010計画』…「商業、業務、情報等の高次機能の複合的な集積を図る」
 - ③『県都市計画マスタープラン』…「高度な都市拠点として、複合的な都市機能の集積を図る」
 - ④『第5次稲沢市総合計画』…「JR稲沢駅を中心とする新たな都市拠点の形成を図る」
 - ⑤『市都市計画マスタープラン』…「早期に整備することが必要な重点整備地区」と位置付けられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
住環境改善率	%	土地区画整理地区内の全宅地面積に対する住環境が改善された宅地面積(土地区画整理による使用収益開始面積)の割合	道路及び供給処理施設整備による住環境改善を示す指標	62	100
公園誘致エリア充足率	%	地区面積に対する地区内の公園の誘致距離内面積の割合	公園の整備によるコミュニティ機能の強化、防災性向上を示す指標	69	86
地域活動を支える団体数	団体	公園の維持管理などの地域活動を支える団体数	地域活動が推進されることによる地域コミュニティの活性化を示す指標	0	3

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(快適で安全・安心な住環境の形成)</p> <p>・道路及び公園等の整備を推進し、快適で安全安心な住環境の形成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園事業(基幹事業／街区公園) ・地域生活基盤施設(基幹事業／ポケットパーク) ・地域創造支援事業(提案事業／土地区画整理事業(市単独費)) ・土地区画整理事業(関連事業／下津陸田地区) ・下水道事業(関連事業)
<p>整備方針2(地域コミュニティの機能強化)</p> <p>・公園やポケットパーク整備を行うことにより、地域住民の触れ合いと憩いの場を創出する。 ・まちづくりに対する住民参加の継続を図るとともに、住民のニーズに応えるべく、ワークショップによる公園設計を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園事業(基幹事業／街区公園) ・地域生活基盤施設(基幹事業／ポケットパーク) ・まちづくり活動推進事業(提案事業／公園設計ワークショップ) ・土地区画整理事業(関連事業／下津陸田地区)
<p>整備方針3(駅周辺全体の都市機能充実と市街地活性化を推進)</p> <p>・残存している基盤整備を早急に完了させ、都市拠点としての機能充実を図る。 ・駅周辺の東西アクセスの強化や新しいまちづくりの仕掛けを行うなど、駅周辺全体の活性化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園事業(基幹事業／街区公園) ・地域生活基盤施設(基幹事業／ポケットパーク) ・地域創造支援事業(提案事業／土地区画整理事業(市単独費)) ・土地区画整理事業(関連事業／下津陸田地区) ・土地区画整理事業(関連事業／尾張西部都市拠点地区) ・下水道事業(関連事業) ・都市再生総合整備事業(関連事業／稲沢西春線・名古屋豊山稲沢線) ・都市再生総合整備事業(関連事業／名古屋岐阜線)
<p>その他</p> <p>○イベント開催による積極的な事業PRについて 大規模イベントの当地区内での開催を誘致し、平成15年に開催されたカナダのスーパーサーカス団による「キダム名古屋公演」には県内外から約20万人の観客が訪れた。平成17年には同サーカス団による「アレグリアⅡ名古屋公演」を開催するなど、当地区の開発プロジェクトの県内外への積極的なPRに努めてきている。</p> <p>○住民への周知等について この開発を行うにあたっては、開発名称を公募するなど積極的な周知を図ってきた。 また、土地区画整理事業については、まちづくりニュース等により、事業のしくみ、流れ、進捗状況、および住民の意見紹介等について、住民へ周知してきている。</p> <p>○継続的なまちづくり活動について 当市では、地域の課題は地域で解決するため、7つの「まちづくり推進協議会」を設置している。それにより、地域が競い合って目的に応じた事業を企画・運営しており、地域の活性化を図っている。</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付対象 事業費
細項目	開始年度				終了年度		
公園		下津陸田地区	稲沢市	2箇所、4,000㎡	H22	H25	106
地域生活基盤施設		—	稲沢市	—	H23	H25	34
合計							140 …A
提案事業							
事業		事業箇所名	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付対象 事業費
細項目	開始年度				終了年度		
地域創造支援事業	土地区画整理事業(市単独費)	下津陸田地区	稲沢市	19.8ha	H21	H24	49
まちづくり活動推進事業	公園設計ワークショップ事業	—	稲沢市	—	H22	H24	4
		—		—			
合計							53 …B

合計 193 …A+B

稲沢駅周辺地区(愛知県稲沢市) 整備方針概要図

目標	都市機能の充実と暮らしやコミュニティに配慮した快適で安全なまちづくり	代表的な指標	住環境改善率 (%)	62	(平成20年度)	100	(平成25年度)
			公園誘致エリア充足率 (%)	69	(平成20年度)	86	(平成25年度)
			地域活動を支える団体数 (団体)	0	(平成20年度)	3	(平成25年度)

